

平成 15 年 9 月 22 日 発行

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 ☎0287-24-3000
ホームページアドレス：http://www.iuhw.ac.jp

IUHW

The gazette of International University of Health and Welfare

特集

軟式野球部全国大会へ出場!

特集2

2004 ▶ 2005 国際医療福祉大学の 新たな挑戦

2004 年 大学院修士課程に
治験コーディネーター
養成分野を開設

2005 年 大田原キャンパスに
薬学部を新設

本学学生39名が海外研修・活動に参加
恒例のイングリッシュイブニング(第8回)が開講
「学内研究発表会」(平成15年度)を終えて
「リハ工学カンファレンス」(第18回)が開催される
「リハビリテーション関連国際協力研究会」(第1回)が開催される
国際医療福祉大学同窓会「マロニエ会」総会(第5回)開催
言語聴覚学科同窓会「おおるり会」主催卒後研修会(第5回)開催
「与一まつり」に本学学生ボランティアが多数参加

入試課より

- ・オープンキャンパスに多くの受験生が来学
- ・2004年度入学試験についてのお知らせ

◆「人」第1回

「経験や思いが人を動かす力」

国際医療福祉大学理事長 高木邦格

◆連載エッセイ「見・聞・録」第1回

「マーラー博士(WHO第3代事務局長)のジョーク」

大学院教授・国際部部长 長谷川豊

◇理学療法士をめざす元Jリーガー

vol. **51**
September
2003

Information

附属熱海病院／国際医療福祉病院・介護老人保健
施設マロニエ苑・特別養護老人ホーム柘の実荘／
医療福祉リハビリテーションセンター・おおたわら総合
在宅ケアセンター・国際医療福祉大学クリニック／
山王病院・山王メディカルプラザ／
医療福祉チャンネル774



私たちが、全国大会に

出場した、国際医療福祉大学 軟式野球部全50人です。



わが国際医療福祉大学の軟式野球部が、平成15年度北関東大学軟式野球連盟主催の春季リーグ戦および決勝リーグ戦で全9試合を戦い抜き、初優勝を遂げ、8月に広島で行われた第26回全日本大学軟式野球選手権大会に出場を決めた。全国大会では中京学院大学を破り、2回戦に進出。京都産業大学を相手の2回戦では、9回表まで2対2という接戦を繰り広げた。9回裏、相手チームに得点を許しての惜敗であったが、全国ベスト16という快挙である。部員の誰もが言う「チームの団結力」で勝ち抜いた、彼ら50人の健闘を讃えたい。



(取材：編集部)

主将に聞く



主将・長井雄太
(HS3年)
背番号10

監督の不在が「チーム野球」を作った
このチームには監督という存在がない。そのことが、みんなで考え、みんなで作戦を練って、自分たちでやっていく「チーム野球」を作った。監督がいると監督の指示通りに動くチームになってしまふ「やらされるチーム」ではなく、「やっていくチーム」になったのは、監督不在がプラスに働いた結果だと思ふ。部員全員が一つになって、自分たちでチームを強くしている。それがいい結果として表れた。

監督がいなくても、最終的には主将が決めるので、下手をすると自分の色になってしまふ危険がある。できるだけみんなの意見を統合して、話し合いの中で納得できる方針を決めることを心掛けました。

練習は週三回、火曜と金曜は、近くの中学校のグラウンドを借りて、土曜は午前中に近くの球場を借りて行った。あくまでも授業をしっかりとやって野球をやろうというのが方針なので、授業や実習で、なかなか部員のそろそろ時間が取りにくく、調整して練習に出てくれたのは助かった。

今回の全国大会出場に当たっては、先生たちの理解と激励、大学からは資金面での応援もしていたが大変感謝している。応援してくれた大学や関係者の皆さんへの感謝の気持ちを忘れないようにして、これからも野球をしたい。

エースピッチャー 2人に聞く



投手・夏屋郷治
(HS3年)
背番号21

左ピッチャーで、カーブのキレがいい。とにかくコントロールがよく、疲れていてもそう簡単に崩れない。今年は特に球が速くなり、カーブが生きてきた。夏屋は陰で頑張る奴で、どうも一人で筋力とかがしているようだ。県北体育館のトレーニングルームとかに行っているらしい(笑)。負けず嫌いで強気なところが好い。今までの自分の野球人生の中で知り得た最も信頼できる、いいピッチャーだと思ふ。



投手・茂木崇
(PT3年)
背番号11

自分は変化球主体のピッチングだが、茂木は自分とは全く違って、直球に威力のあるピッチャー。ほとんど真つ直ぐで押して行って打ち取ってくる。自分が崩れても、「後ろに茂木がいる」というのが常に自分にとっての安心材料だった。茂木はムードメーカー的存在。明るくて野球チームには絶対に必要な存在です。

捕手で4番 バッターに聞く

捕手・太刀川典男
(RT3年)
表紙の人

四番バッターからみた
捕手から見た守り
大振りすることなく
一人ひとり次につなぐ
バッティングを心掛ける

MEMBER

●前列左より：小西輝尚(PT3年)セカンド、信賀幸太郎(NS3年)センター、片山和紀(RT3年)サード、大井亮則(HM3年)ショート、長井雄太(HS3年)ライト・主将、茂木崇(PT3年)投手、鉢村孝一(HS3年)レフト、夏屋郷治(HM3年)投手、青山武由(RT2年)投手
●中列左より：長田理恵(OT2年)マネージャー、大古佳世(NS2年)マネージャー、田中裕輔(PT2年)センター、中村優仁(RT2年)サード、河野健一(PT2年)セカンド、白旗宏光(HM2年)ショート、及川翼(PT2年)セカンド、高野裕介(HS3年)ライト、新井大志(PT3年)ファースト、西村友希(HS2年)レフト、金子和世(NS3年)マネージャー、伊藤希美(OT3年)マネージャー、
●後列左より：小川真希子(HS1年)マネージャー、斎藤愛子(PT1年)マネージャー、太刀川典男(RT3年)キャッチャー・4番、坂本真一(PT2年)ライト、斎藤直基(HS1年)投手、西和也(HM2年)ファースト、大垣航(HM2年)投手、木下洋一郎(HM3年)センター、小林武雅(PT2年)キャッチャー、鈴木裕(HS1年)投手、杉原卓(RT2年)投手、小口敏(PT4年)3塁ランナーコーチ、山口藍(ST3年)マネージャー、入江光子(HS3年)マネージャー
●写真に写っていない部員：齋藤学(HM3年)投手、阿部功(PT3年)内野手、鈴木正寛(PT3年)内野手、岩瀬智史(OT3年)外野手、奈良宣則(HM2年)内野手、田中康雄(PT1年)内野手、山田哲弘(RT1年)内野手、五位剛俊(RT1年)外野手、牛島功貴(HS1年)内野手、岸本泰徳(HS1年)外野手、坂本亘(HS1年)内野手、角田颯(NS2年)マネージャー、白石直美(HS1年)マネージャー、入内悠悠(OT1年)マネージャー、橋本光康(放身療・情報科学科講師)顧問教諭

DATA

平成15年度北関東大学軟式野球連盟主催
春季リーグ戦および決勝リーグ戦

【西地区リーグ戦】
4月26日 対那須大学
7-0で7回コールド勝ち、投手：茂木
4月29日 対帝京大学
2-0で勝ち、投手：夏屋
5月3日 対宇都宮大学
9-1で7回コールド勝ち、投手：茂木
5月5日 対関東学院大学
8-0で7回コールド勝ち、投手：夏屋
5月10日 対東京福祉大学
1-2で惜敗、投手：茂木・夏屋
5月17日 対作新学院大学
0-1で惜敗、投手：夏屋
5月23日 対上武大学
4-3逆転サヨナラ勝ち、投手：夏屋
決勝トーナメント進出決定！

【西地区・東地区決勝トーナメント】
6月21日 対白鷗大学(準決勝)
1-0サヨナラ勝ち、投手：夏屋
6月29日 対作新学院大学(決勝)
3-0完封勝利、投手：夏屋
北関東大学軟式野球春季リーグ戦初優勝！

第26回全日本大学軟式野球選手権大会
於：東広島市御建峠場

8月18日 対中京学院大学(1回戦)
3-1で2回戦進出、投手：夏屋
8月19日 対京都産業大学(2回戦)
2-3サヨナラ負け、投手：夏屋
全国ベスト16！

コチから見た 今年のチ ームの強さ



コーチ・小口敏
(PT4年)
背番号29

今までチームを見てきたけれど、今年のチームは、何をやるにしてもみんな考えてやっている。自分たちで練習方法を考え、駄目なところをどう変えていくかを話し合っている。そこが今までと大きく違うところ。団結力があって試合の時にまとまる力がすごい。練習では基礎的・基本的なところに重点を置いているので、基礎力は出来上がっている。後は応用力がついてくればもっとも強いチームになると思う。あ、これだけは書いておいて下さい。「みんな野球が大好きな奴らです！」

で、どこでも点を取れる打線を目指した。上位は打って取る、下位は、バント、エンドランなど小技を入れて点が取れる打線です。うちは、ピッチャーを中心にした守りのチームなので、ピッチャーが崩れないように、内野を盛り上げてピッチャーを盛り上げることを心掛けています。

練習での苦労

学科ことで授業の終わる時間が違うので調整が大変。自分は放射線、情報科学科ですけど、実験があるとき7時頃までかかってしまい、練習に行けなかったり、遅刻したりしてしまふ。みんな授業を主にやっているの、練習の時間を作るのが大変だった。グラウンドを借りているので、ナイターができるグラウンドがあると嬉しい、とは思っけれど、ここまで来れたのも親や支援してくれた大学のお陰なので、そうした方々への感謝の気持ちを忘れずに頑張りたい。

2004^{A new challenge} 2005 国際医療福祉大学の 新たな挑戦

特集2

IUHW feature articles part2

2004 |

大学院修士課程に治験コーディネーター養成分野を開設

2005 |

大田原キャンパスに薬学部を新設

平成十六年度 四月

わが国初の治験コーディネーター(CRC)の養成を目指した「臨床試験研究分野」を大学院修士課程に開設

修士課程にCRC養成分野を開設
博士課程に医療福祉経営分野なども

国際医療福祉大学大学院院長 開原成光



大学院で学ぶ学生は毎年増加し、現在は二六三人が在籍しています。キャンパスごとの学生数は、大田原約一〇〇名、東京約二二〇名、九州約四〇名、熱海三名であり(概数で示したのは、二つのキャンパスで学んでいる学生もあるからです)、すでに大田原よりも、他のキャンパスの学生数の方が多くなりました。

さて、こうした現状を踏まえて、来年度の大学院は、医療福祉経営専攻修士課程が完成したことを契機に、さらなる発展をすることになりました。

その第一は、保健医療学専攻博士課程(博士後期課程)に、新たに「医療福祉経営学分野」、「医療福祉学分野」、「福祉援助工学分野」を開設すること、第二は、医療福祉経営専攻修士課程に新たに「臨床試験研究分野」を開設することです。第一の博士課程の分野新設は、医療福祉経営専攻修士課程の上の博士課程に対応

するもので、博士課程では専攻を二つに分けずの一つの専攻としました。これは、今後学問は細分化されるべきでなく、学生は必要なものを横断的に学べるようにしたいという考え方によるものです。

第二の、修士課程の臨床試験研究分野は、今、特に必要とされている臨床試験コーディネーター(CRC)の養成をめざした分野で、すでに看護師、薬剤師などの資格を持った人たちがここでさらに専門的な知識を身につけてCRCの指導者としても活躍してほしいという願いがこめられています。この分野は、今後病院で始まる臨床試験(治験)とも連携しながら、実的な技術を学ぶことになりました。

また、本学大学院は発展途上にあり、今後もいろいろな分野を開設していく予定もあり、どうぞご期待ください。

臨床試験研究分野の紹介

国際医療福祉大学大学院 臨床試験研究分野教授



田中俊一

新薬が開発されて、医療現場に供されるには「ヒト」を対象とした臨床試験を行わなければなりません。新薬を作るのに必要な臨床試験を「治験」と呼びます。

治験は医師、製薬企業、そして参加し

平成十七年度 四月

これまでにない薬学部教育をめざし、大田原キャンパスに薬学部を新設

「チーム医療」に貢献できる「人間性・社会性・国際性豊かな新時代の薬剤師の養成をめざして

国際医療福祉大学学長 谷修一



国際医療福祉大学は、わが国初の「医療福祉の四年制総合大学」として、平成七年の開学以来、「チーム医療」に貢献できる医療福祉専門職を養成してきましたが、「医療福祉の総合大学」としての特徴を十分に生かしながら、北関東では初めてとなる薬学部を設置する計画を進めています。

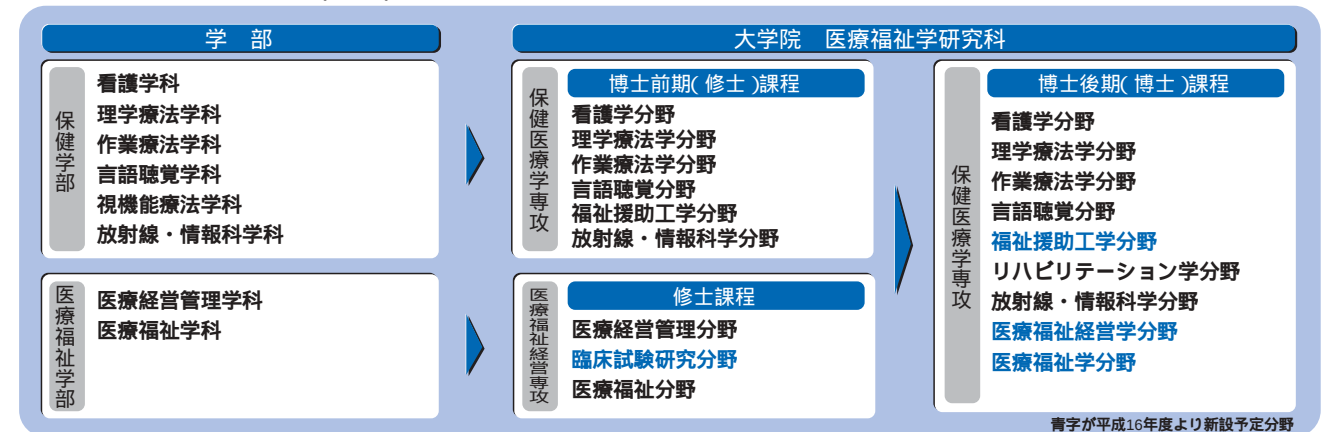
本学の特徴でもある数多くの関連臨床実習施設と連携をとりながら、第一線で活躍する優れた教員スタッフの下で、高度な専門性を備えるとともに一人の医療人として「チーム医療」に貢献できる、人間性・社会性・国際性豊かな新時代の薬剤師を養成していきたいと考えております。

全国の薬学部には先駆け製薬企業のMRやCRC養成のための科目を開設

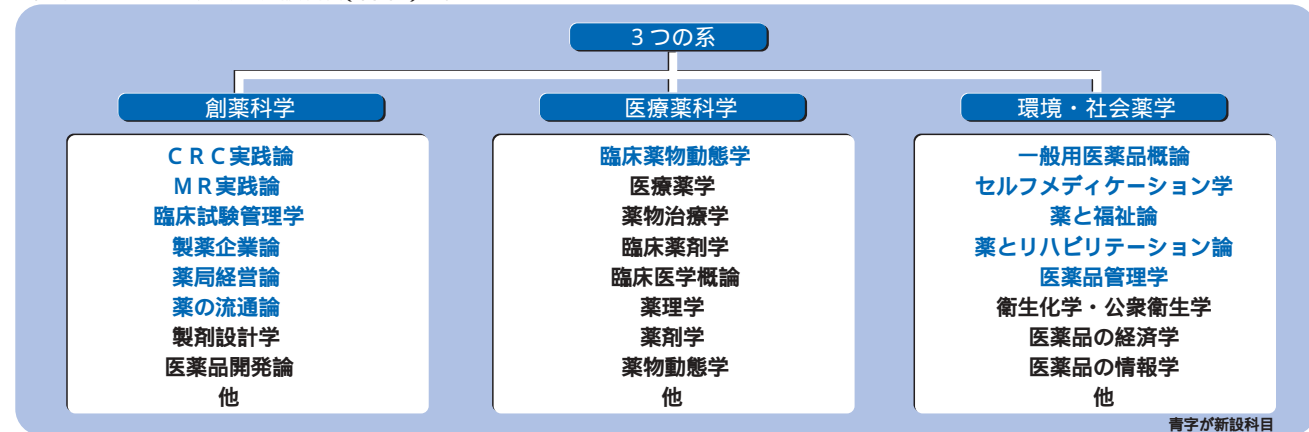
校舎は、平成十七年三月までの完成をめざし、新しく六階建ての薬学部棟の建設を計画

国際医療福祉大学は、平成七年、開学

大学院専攻課程と新設分野(青字)



従来にはなかった多くの新設科目(青字)を予定




 本学学生三十九名が
海外研修・活動に参加

恒例の「海外研修・活動結団式」が、七月二十六日（金）、本学キャンパスで行われた。看護学科、作業療法学科、言語聴覚学科、放射線・情報科学科、医療経営管理学科および医療福祉学科の二年生から四年生、三十九名が三班に分かれて、七月二十八日から八月十一日の二週間の日程で、ベトナム、オーストラリア、アメリカの三カ国において現地の病院と諸福祉施設などで、医療福祉研修・ボランティア活動を行った。



そろいのユニフォームで
谷修一学長を囲む参加者


 入試課より
オープンキャンパスに
多くの受験生が来学

七月十六日（土）と三〇日（水）、八月三〇日（土）の三日間にわたり本学にてオープンキャンパスが開催された。来場者数は三日間の合計で二千四百五十一人。昨年よりも一三％増加した。恵まれない天候ではあったものの、学内は若い熱気であふれ賑わいを見せた。

F O 一教室で開かれた「総合ガイダンス」には、受験生とともに保護者の姿も多く見られ、学長による大学紹介や各学科長の学科紹介に熱心に耳を傾けていた。またオープンキャンパス開場と同時に「個別入試相談コーナー」（E O 一教室）には多くの受験生が詰めかけ、志望学科のブースでさまざまな質問が教員に投げかけられていた。この日のために在学生たちが企画・準備してきた「体験入学」は、各学科ならではの工夫が随所に凝らされ、受験生たちの関心を惹きつけた。

北海道や青森、三重、広島、香川など、遠方からの来場者も多く見られたが、中でも一番遠くから参加してくれたのは沖縄県の高校三年生女子。家族と一緒に朝一番の飛行機ではるばる参加。志望は理学療法学科で、「これまでよりいっそう興味が持てるようになりました。車いす体験もできて、理学療法についてさらに知ることができました」と喜んでいた。

来場者アンケートから

「体験入学の教室で説明してくださった在学生の方がとても気さくな方で、大学のこ

目を履修する学生は現地の医療スタッフ等の協力を得ながら、各国の保健医療福祉事情を学ぶことにより、前述の科目の単位を取得することができるとのこと。

一九九八年から始まった中国・北京市にある中国リハビリテーション研究センターでの研修・活動は、これまで大勢の参加者がいたが、今年は世界的に猛威を振るったSARSの深刻な流行を懸念して研修派遣を中止した。

今年の結団式では、国際交流委員会委員丸山および伊藤両学科長、荒井前学科長および引率教員と海外研修・活動に参加する学生など約六十名の参加者を得た。長谷川国際部長は「この活動が参加学生の人生に大きなプラスとなることと、無事に帰国することを祈念する」と挨拶され、飯沼教務委員長は「各国の医療福祉を学び、今後の勉強に生かしてほしい」と激励された。また研修グループを引率する日高先生、奈良先生、加藤先生の三名が挨拶し、参加学生全員が一言ずつ抱負を述べた。

ベトナム班および参加者全員が女子学生となったアメリカ班は、いろいろなことに挑戦して、充実した研修をしてきたい」と誓った。またオーストラリア班は「ホームステイによって外国の方と一緒に生活して、この国の医療や文化などを勉強したい。また研修期間中に訪訪される高木理事長に目にかかれることも大変嬉しい」と、抱負と喜びを述べた。

国際交流委員会委員・国際交流センタ
MB
講師 陳 霞 芬

* なお次号では、研修参加者の報告記事を掲載致します
（この期待下さい）（編集部）

とや一人暮らしのことなど、おもしろく丁寧に話してください、ますます興味がわきました。参加してよかったと思います。」

言語聴覚学科志望mm高校三年生女子mm茨城県在住

「見学してみているいろいろなことが学べた。先輩の学生も優しくかった。志望学科の先輩たちに、がんばって入学してこい！と言われたので、これから勉強を頑張りたい。」

医療経営管理学科志望mm高校三年生男子mm茨城県在住

「学長や学科長、在学生の方々のお話を聞き、資料だけでは知ることができないことを教えてもらったので、このオープンキャンパスに来てよかったと思いました。絶対に合格しようと思う気持ちが強くなった一日でした。」

視機能療学科志望mm高校三年生女子mm青森県在住



放射線・情報科学科でCTを体験する受験生と父兄

■連載エッセイ 1
ken・bun・roku
見・聞・録
第一回
大学院教授・国際部長
長谷川 豊

マーライ博士
（WHO第三代事務局長）
のジョーク



著者近影

私はmm一九七四年九月から八四年四月までの九年七カ月mmスイス・ジ ーネMBプのWHO本部に勤務したcm一九七九年初夏mmWHO事務局長補佐mmミチ氏宅の夕食会でmm光栄にもWHO第三代事務局長mmEarl A. B.博士と同席したcm日頃はmm世界各地に勤務する四千人を超えるWHO職員を統率しmmカリスマをたたえた風貌が近寄り難い印象を与える博士がmm比較的少人数の集まりのリラ クスした雰囲気からかmmジ ーMBクを連発されたcm曰くmm暇なときはねmmサレMBプ ジーネMBプ郊外の小高い丘 に行ッてmm辺りをそッて見回し誰も居ないと見るやmmやおら一服やるのだよcm という発言に皆どッて笑ッたcm当時mmWHOは禁煙キ ンペMBンを強力に開始したときでmm事務局長が喫煙したのではmm当然mmまずいのであるcmただしmmマMBラMB博士はmmとッくに禁煙しておられることを皆知ッているのでmmどッときたのであるcm

曰くmmジ ーネMBプの市内観光バスがWHO本部ビルの前に停まッたときmm観光客が質問したのだcm立派な建物ねcm何人くらい働いているの？ mmパスガイドの答え 五〇％くらいですねcm これにも皆mmどッときたcmWHO本部ビルには約二千人も職員が居るがmmまともに働いている のは半分くらいという皮肉であるcm曰くmm人間の脳を売ッている店があるんだcmお客が来てmmこの脳はいくら？ と訊くとmm店員 ーそれはmm二〇〇ドルですcmmm客 へッmm安いなッmm誰の脳？ mm店員 ーアインシュタイン博士の脳ですcmmm客 へッmm安いねcmこッちの脳はいくら？ mm店員 ーこれは二〇〇〇ドルですcmmm客 ー高いなッmm誰の脳？ mm店員 ーこれはWHOのMedical Officerの脳ですcmmm客 ぶッッWHOのMedical Officerの脳がそんなに高いのcmmm店員 当たり前でしょcmWHOのMedical Officerの脳はほとんど使われていないのでmm大変フレ ーシ なんですcmそれに引き換えmmアインシュタイン博士の脳は散々使いこまれてmmからッぽなんですcm



スイス・ジュネーブのWHO本部ビル


 二〇〇四年度入学試験
についてのお知らせ

本学在学生のみなさんも何年か前に経験された「入試」。みなさんは何を思い出すでしょうか。

ご存知のように、本学は高校生から社会人の方まで幅広く門戸を開いており、毎年、全国各地からの受験者があります。

二〇〇四年度入学試験は左記の日程で行われます。すでに第一回社会人特別選抜入試が終わり、現在は高校生を対象としたAO方式による入試が進行中（一部学科のみ）。また、大学院入試の願書受付も始まっております。身近に医療・福祉分野に興味を持っておられる方がおりま

したら、ぜひ本学をご紹介ください。入学試験制度の昨年度からの変更点は次の三点です。

▼一般入試（前期）A日程の地方入試会場として大阪会場を新設。これにより一般入試（前期）では、大田原本校のほか、仙台・東京・熱海・名古屋・大阪・福岡と主要都市での受験の機会が増えた。

▼看護学科においてAO方式による入試を新たに導入（放射線・情報科学科、医療経営管理学科、医療福祉学科ですでに実施）。

▼医療経営管理学科で社会人特別選抜入試を新たに実施。これにより全学科において社会人特別選抜入試が実施されることになった。

来年本学に入学して来る新しい仲間たちの健闘を祈りましょう。

入試課

■2004年度入学試験日程：入試に関するお問い合わせは、入試課まで（☎0287-24-3200）											
入試区分		試験地	学部	願書受付期間 （消印有効）	入学試験日	合格発表日					
一般入試	前期	< A日程 > 仙 台 大 原 東 京 熱 海 大 阪	保健学部	H16.1.5(月) ～1.23(金) 【 1/24、26のみ窓口 】	H16.2.2(月)	H16.2.17(火) 午後1時 【 本学掲示板 】					
			医療福祉学部		H16.2.3(火)						
			保健学部		H16.2.5(木)						
			医療福祉学部		H16.2.6(金)						
	後期	大 原	保健学部	H16.2.16(月) ～2.25(水) 【 2/26、27のみ窓口 】	H16.3.4(木)	H16.3.11(木) 午後1時 【 本学掲示板 】					
			医療福祉学部		H16.3.5(金)						
			センター試験利用		—		保健学部	H16.1.5(月) ～1.23(金) 【 1/24、26のみ窓口 】	個別学力 検査等は 課さない	H16.2.17(火) 午後1時 【 本学掲示板 】	
			—		医療福祉学部						
高校推薦、 留学生・帰国生徒 特別選抜		大 原	保健学部	H15.11.1(土) ～11.8(土)	H15.11.15(土)	H15.11.27(木) 午後1時 【 本学掲示板 】					
—		医療福祉学部									
社会人 特別選抜	第1回	大 原	保健学部	H15.8.11(月) ～ 8.22(金)	H15.8.30(土)	H15.9.18(木)					
			医療福祉学部								
	第2回		保健学部	H15.11.25(火) ～12.5(金)	H15.12.13(土)	H16.1.7(水)					
			医療福祉学部								
AO方式による入試		個別連絡	保健学部	H15.8.25(月) ～9.5(金)	個別に 連絡・実施	平成15年10月 中旬までに連絡					
—		医療福祉学部									

AO入試…保健学部〔看護学科、放射線・情報科学科のみで実施〕

今年もまた、語学教育センターの教員による恒例の英語公開講座「English Evenings」が開講された。この講座は、毎年、七月の最終週に行われるため、参加者もとより、語学教育センターの教員にとっても、夏休みに楽しい弾みをつける行事となっているようだ。



Stacey Vye 先生と英会話を楽しむ

七月二十三・二十四・二十五日の三日間、四人のアメリカ人の先生と日本人教員が協力して四クラスに分かれ、「ショッピング・イン・オオタワラ」というテーマで、英会話が飛び交いました。買い物の設定は、東武デパートとシママラ。

初心者クラスでは、親子での参加が三組もあり、和やかな雰囲気の中、「買い物ゲーム」をしながら英会話を練習しました。おもちゃの大きな五十ドル紙幣に十ドル紙幣、コインの模様のついた消しゴムを駆使して、英語での買い物文化に触れることができました。

初級・中級クラスでは、テキストにそって売り場の場所を尋ねたり、教えたり、また品物の値段を聞いたり、日常生活に即した会話が弾みました。上級クラスでは、例年通りテキストなしで「Speak, speak, speak!」話題を

変えながら旧知の友人のように打ち解けて、日本にいることを忘れて英語で話し続けました。

新しくなったL教室でのドリルもとても楽しめました。ヘッドセットを着けて、英文を聞いてリピートしたり、自分の声を録音して聞いたり、先生と個人・グループとのコミュニケーションを楽しんだり。毎年参加して下さる方からも「良くなりましたね」と言われ、「画面がきれい、音が良い、こんなに立派な設備で勉強している学生さんたち、羨ましいですね」などの感想に、本当に嬉しくなっていました。平井堅の歌う「Grandfather's clock」に合わせて英語で歌う練習もしました。

三日目は、四クラス全員が一同に会し、軽食を楽しみつつ、コタ先生のユーモアたっぷりの司会で、英語の歌やゲーム、ギター演奏に興じました。各

七月二十九日（火）に平成十五年度「学内研究発表会」が開催された。今年は昨年と同様、二会場に分かれて、口述発表十五題とパネルセッション（ポスター発表）三十四題が発表された。どちらの会場も大変な盛況で熱心な討議が交わされていた。発表された各先生方は、難解な研究内容をそれぞれ工夫されて、分かりやすく説明しておられた。

今回は、私をはじめ新しいFD委員会のメンバーで臨んだ発表会だったので、開催準備に不慣れなため不安は大きかったが、参加された先生方や事務局教務課の皆さんのご尽力により、すべての発表を無事、滞りなく終えることができた。この場をお借りして、改めて厚く御礼申し上げます。

本学は、二学部八学科から成る大所帯なので、日頃は他分野の先生方の研究内容をお互いに知る機会ほとんどない。抄録集に目を通すと、その演題の多様さ



FD委員長を務める潮見泰蔵先生

に驚かされる。研究内容を真に理解するにはその背景知識が必要となるが、各演題とも研究の背景について丁寧に解説していただいたこともあり、初めて聞く領域の話であっても、大変理解しやすく、興味深く拝聴することができた。また、私自身にとって、今後の研究のヒントになるような研究も幾つかあった。

その意味で、年に一回、このような形で教員が一堂に会して発表の場がもたれることの意義は大きいと思う。今後は学内研究費の有無にかかわらず、「国際医療福祉大学学術集会」というような形で開

連施設からの発表も含め、盛大に開催されることも検討されてよいと思う。また、研究自体のpriorityの問題はあるが、今後は研究内容が「紀要」に掲載されることが望まれる。

今後この研究発表会を、より充実したものとしていきたいと考えているので、開催方法等について、忌憚のないご意見やご要望をFD委員会宛にお寄せいただければ幸いです。

リハ工学カンファレンスは、福祉用具をキーワードとした一種の研究会・学会で、日本リハビリテーション工学協会が主催している。研究会あるいは学会といても、一般に持たれている「かたい」「イメージではなく、形式や完成度などにとられず、障害を持った方や介護を必要とする人に役に立つ内容であれば、学術的であれ、実用的であれ、研究であれ、開発であれ、広く紹介しよう、という集まりである。

毎年一回持ち回りで開催されるが、今回は国際医療福祉大学大学院の田中繁が大会長となり、実行委員長の山本澄子大学院教授を中心として準備が行われてきた。当日は、準備を進めてきた大学の教職員などに加え、多くの大学院生や学生の手により運営された。この他、外部からの多くの人々や組織の助けを得てきた



特別講演を熱心に聴き入る参加者

のは言うまでもない。

カンファレンスは八月二十八日（木）～三十日（土）の三日間にわたり、栃木県総合文化センター（宇都宮市）を会場として開催され、プログラムの主な内容は、以下のようなものであった。

特別講演：演者は協会の創始者の一人、mTVなどを通じ福祉用具の使い方に関する教育などを行っている市川列氏cm

セミナー：二つのセミナーがあり、一つは今回のメインテーマである「介護・福祉用具と環境整備」として建築の立場と行政の立場から話をしていたいたcm

もう一つはm福祉用具の今日的課題として福祉用具におけるITの問題とm各種の規格について話をしていたいたcm

Show & Tell（シアンドレル）：完成までには至っていないが今後を期待してほ

クラス代表の方々の名スピーチに感心したり、新しく知り合った人々と英語で会話も楽しみました。「Grandfather's clock」を大きな声で合唱して

いい福祉用具の試作やアイデアを紹介するものであるcm

言いたい放題セッション：福祉用具に関連した素朴な疑問や不満などm普段言えないがぜひ議論に載せてほしいことを話すものであるcm

もちろん、普通行われる口頭による研究発表やポスターを使った研究発表もあった。さらに、三〇社に及ぶ関連会社の展示、トヨタ・日産・三菱三社の福祉車両展示、ロボットの誕生から介護ロボットまでを紹介するコーナーがあった。また、中日には本学の谷修一学長に挨拶をいただき、交流会が開催された。参加者として五〇名を目標にして準備を進めてきたが、企業の説明員なども含め六〇〇名以上に上ったようで、成功裏に終了したと感じている。

最後に、ぜひ紹介したいことがある。それは、当日の運営の手足となったわが本学の学生についてである。開催中の三日間、そこかしこで「学生の対応が良い」「学生の感じがとても良い」「学生の動きがてきぱきしていて運営がスムーズだ」というような学生を褒める言葉を聞いた。大学にとっての大きな誇りと感じている。

□ 大学院 田中 繁



なごやかな雰囲気の中話がはずむ

のふれあいの丘にて開催された。国際部の長谷川豊先生をはじめ、群馬大学、県立茨城医療大学、秋田大学に加え日本各地から国際協力に携わるPT、OTの先生方、国際協力に興味を持つ学生など総勢三十名が集まり、協力隊活動などの活動報告および研究発表が行われた。

開発途上国支援へのチームアプローチ（中国、マラウイ、マレーシアでの活動報告）や、ケニアからの研修生による母国の医療事情についての講演があり、また、夜の部では、ピアガーデンでお酒を交えながら親睦を深め、国際協力についての熱い思いを交換し合った。国際協力というと海外での活動というイメージが強いが、さまざまな形で貢献していけることを知った。

アットホームな雰囲気の中、職種や年齢に関係なく、同じ志を持つ者同士の輪が広がり、協力隊時代の裏話や失敗談、笑い話なども聞け、とても有意義な二日間であった。職種を超えた、より多くの人の意見交換の場になることを願い、第二回の開催を楽しみにしている。

□ 国際医療福祉リハビリテーションセンターMB
野口 薫／国際医療福祉病院 古谷桃子

皆さんこんにちは。この度、同窓会長に就任いたしました放射線・情報科学科第二期生の野田忠明と申します。これまで同窓会を支えてきた吐師、鈴木、両会長の努力を引き継ぐことになりましたので、書面ではありますが、ご挨拶申し上げます。

同窓会も創設より五年目を迎えて、会員数も三千五百名を超えました。単純計算ですが、それだけの人数が全国で頑張っていて、これからも増えていくと思うと、心強いかがりです。

自分の勤務先は病院なのですが、同窓生が入職したと聞くと、とりあえず迷惑かえりみず会いに行きます。なんとも嬉しいんですよ。

そう先日、大田原に出戻る機会がありました。車で四号線の矢板付近にさしかかったときのことで。当時常連だった吉野屋（まだ当時は並が四百円だった）を右手にしたところで、突然の夕立と雷、それも土砂降り。夏。しばらく沈黙。大田原夏の風物詩。十メートルで変わる天気。懐かしさにふけりたい方、感傷にひたりたい方はぜひ。

最後に総会に参加していただいた皆さん、暑い中、ありがとうございました。同窓生の皆さん、社会人お疲れさまです。ぜひ学校に遊びに来てください。きっと元氣になれます。



7月27日（日）、東京乃木坂の本学東京事務所内ホールで行われた、第5回国際医療福祉大学同窓会「マロニエ会」総会。総会で谷修一学長を囲んで、前列左より3人が筆者。

八月二日・三日に国際医療福祉大学において、言語聴覚学科同窓会「おあがり会」主催の第五回卒後研修会が開かれ二〇〇名が参加した。中川信子氏（子ども発達支援を考えるSTの会）による「子どもの発達支援」かわりの中で伸びることばの力、佐藤睦子氏（脳神経疾患研究所附属総合南東北病院神経心理学研究部門）による「神経心理学的症状の色々」の二題の学術講演があり、また、症例報告三題に対して活発な質疑応答がなされた。

会長の山田奈保子氏（福島県心身障害児総合療育センター）に寄稿して頂いた。

言語聴覚学科 大平章子

＊ ＊ ＊

「えっ？ 誰もいない？」これが悪夢の始まりだった。昨年は一〇名いた役員が今年は半減し、経験者は二名。新役員に十分な引継ぎを…と思っていた矢先のことだ。

研修会の大きな柱の一つの症例検討会の発表希望者が誰もいない。今年は今一つ一つの柱である学術講演を二本立てにし、講師の先生に症例検討についてのご指導をいただくことにしたのに…「しょうがない、私がやるわ！」なんて言ってしまった。それからという



症例報告中の山田奈保子会長

もの、会の運営・症例発表の準備と忙しい時間を過ごした。準備が思うように進まない苛立ちから、引き受けるのではなかったと思うことも度々あった。これまで会長として「学会の練習の場としてこの研修会を利用してほしい」と言っていた私だったが、まさにそのとおりだった。会の運営も発表の出来も不十分な部分が多々あったと思うが、自分の仕事を振り返る意味でもとても良い勉強になった。そして、私をサポートしてくれる人たちが優しさをもらい、労いの言葉をかけてもらい、本当にありがたいと感じる瞬間がいくつもあり、貴重な体験をさせてもらったと思っている。

同窓会としても研修会としてもまだまだ発展途上ではあるが、会員みんなの力で成長させていきたい。そのためにも、これからもぜひ研修会を利用してほしい。症例検討発表の希望者が増えてほしいと思う。最後にこの場を借りて、他の役員に一言。みんなの力と心がなければ、この研修会は実現しませんでした。心から感謝しています。

山田奈保子

「与一まつり」に本学学生ボランティアが多数参加
甲冑姿とよさこいソーランで
祭りを盛り上げる



甲冑姿で勢揃いした本学の学生ボランティア

大田原市の夏を彩る代表的なイベント「第三十三回与一まつり」が八月二・三日の両日、市の中心部を舞台に開催された。昼は与一武者行列や子ども御輿が広場を行き交い、夕刻からは華やかな流し踊りが通りを埋め尽くす。本学の学生たちも、毎年さまざまな形でこのイベントに参加して地域との交流を深めている。

威勢の良いソーラン節の踊りを団体で競う「よさこいソーラン」には、本看護学科から三十五名の学生たちがトップバッターで登場。法被姿でのエネルギーッシュな踊りで大いに会場を沸かせた。また那須与一を先頭に、勇壮な武将・女官など約三百人のパレードが歴史絵巻を再現するメインイベント。与一武者行列にも、本学の学生たちが、重さ十六キログラムにもなるといふ甲冑等に身を包んで多数参加し、祭りを盛り上げた。

「今日は那須十郎役で参加です。これからこの姿（甲冑の衣装）で四時間歩き続けるということで、すでにもう汗だくなんですけど頑張ってます！」

理学療法学科一年 嶋篠原貴仁さん

また、地域との交流を目的として例年学生会が出店する「模擬店」では、今年は冷たい飲み物や学生会特製（？）の「揚げシューアイス」を販売。炎天下でのお祭りであつてなかなかの繁盛ぶりを見せる一方、小さな子どもたちと輪投げを楽しむなど地元の方々の自然な触れあいも生まれていた。

「学生会として与一まつりに参加するのは今年が三年目ですが、子どもたちと遊

理学療法士めざす元「リリーガー」

高校卒業後約六年間、「リリーガー」としてプレイした経験を持つ、島田周輔さん（理学療法学科三年、二十七歳）。本学のサッカー部を初優勝に導いた立役者でもある彼に、サッカーに対する熱い思いを聞く。

「今は、何が何でも試合に出たいという気持ちはないんです。こうして大学で学びながらサッカーができるという環境があるということだけで幸せなんです。」

「プロとしての」六年間で、満足のいく結果は出ていないけれど、それなりにサッカーと真剣に向き合って、自分なりのベストを尽くして来れたことで、ある意味でサッカーというものに對しての、自分としてのケジメがついた、ということかも知れません。」

彼が子どもの頃から夢見ていたことは「サッカー選手でいること」ではなく、「全日本に出るような名選手になること」だった。しかし、それが叶わないと分かったとき、側面からスポーツ選手をサポートできる仕事ができればと思った。それが、理学療法士をめざしたきっかけである。選手時代に受けた、トレーナーのような仕事がいいたと思ったのである。



「これから山王病院で実習です」と語る島田周輔さん

広場のビルの壁面には、ひときわ目を引く「祝 国際医療福祉大学軟式野球部全国大会出場」の横断幕が貼り出され、開学から九年目を迎えた本学がしっかりと地域に根ざしつつあることを象徴しているように思われた。

取材…編集部

第六回県大学サッカーリーグ前期で本学を初優勝に導いた「元リリーガー」島田周輔さんに聞く

しかし、今、大学で学び、スポーツ選手だけではなく、高齢者や障害者の方々のサポートする、福祉の世界の奥深さを知ったという。

「まずは理学療法士になることですが、もっと幅広い意味で医療・福祉というものをとらえて、自分の進むべき道を考えたいんです」という彼の胸には、次のステップへの熱い思いが、静かに穏やかに流れているようだ。

取材…編集部

順調に進む附属熱海病院新築工事

附属熱海病院は平成十四年七月に旧国立熱海病院を承継して開院しましたが、施設を全面的に更新するため、開院と同時に病院新築工事に着手いたしました。現在は平成十七年夏の完成を目指して順調に工事が進んでおります。

太平洋（相模湾）の水平線を望む新病院は、ゆとりある間取りの外來待合スペースや多くの病室がオーシャンビュー！待ち合わせの時間も落ち着いて過ごすことができ、病室からの眺望は患者様へ安らぎのある療養環境を提供できることとなります。さらに熱海は湯量豊富な温泉地であり、院内にある温泉源を利用し、温泉浴室の新設や温泉によるリハビリテーションも計画しております。

本学大学院サテライトキャンパスも充実

また新病院には大学附属病院として臨床だけでなく教育分野においても充実した設備を準備できるよう計画中です。例えば現在すでに熱海病院内で開講している本学の大学院サテライトキャンパスについては新病院でも大容量の光ファイバーシステムにより本校や東京キャンパスの大学院の授業を受講できる専用教室や図書室を準備して、年々高度化する医療界の情報・知識を学ぶことができる環境を整えます。さらに一般募集を通して病院外からも大学院生を募集し、社会に開かれた大学附属病院として地域に貢献したいと考えております。なお、入学後熱海サテライトキャンパスで主として受講

を希望する志願者は、熱海病院総務課（担当・本山）までお問い合わせください。

さらに充実した診療体制を実現！

開院以来、常勤医師を大幅に増やし患者様が安心して診療体制を実現してまいりましたが、最近の主な変更点と現在の診療体制についてご案内いたします。

最近の主な変更点

▼平成十五年四月…唐澤教授□消化器科□藤澤教授□小児科□をはじめ、mm新たに十七名の常勤医師を迎えるcm特に小児科は四名の常勤医師が新たに加わり診療体制の充実を図るcm

▼平成十五年八月…北洞□きたはら□教授□消化器科□着任cm

▼平成十五年八月…心臓カテMBテル検査□を新たに開始cm

▼平成十五年十月…十河□そごう□医員着任予定cm

現在の診療体制

下表「外来診療担当医師一覧」参照

□ 附属熱海病院 本山聡洋

附属熱海病院短信

本年五月に開催して好評を得たmm一般市民向け公開講座の第一回に続きmm第二回講座がmm九月二十八日（日）mm十三時～十六時三〇分よりmm熱海市役所内の熱海観光公会館で開催されたcm

外来診療担当医師一覧												平成15 年10月1日現在			
診療科		月		火		水		木		金		土			
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内 科		川口(消)	唐澤(消)	川口(消)		唐澤(消)		川口(消)	北洞(消)	唐澤(消)	春山(消)	川口(消)			
		野澤(消)	北洞(消)	春山(消)	春山(消)	野澤(消)	野澤(消)	唐澤(消)		国枝 1	国枝 1				
		築山(循)	築山(循)	築山(循)	重政(循)	生駒(循)	築山(循)	築山(循)	伊藤(呼)	重政 1	生駒(循)	重政(循)	生駒(循)		
		下田(糖)	佐々木	下田(糖)	下田(糖)	田中(糖)	下田(糖)	田中(糖)		下田(糖)		下田(糖)			
外 科		伊藤(呼)	(神経内)	北洞(消)		北洞(消)				須藤(呼)	須藤(呼)				
		鹿原		岩崎		鹿原		岩崎		鹿原		岩崎			
総合診療科		足立	足立	韓	韓	土田	土田	足立	足立	韓	韓	土田	土田		
		折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居	折居				
整形外科		天門	後藤	後藤	手術	上杉		上杉		天門	天門	2人(交代)	2人(交代)		
		上杉	腰野			上條	上條		手術	上杉	上杉				
泌尿器科		栗山		栗山		栗山	栗山	露崎	露崎	栗山		栗山	栗山		
		露崎	露崎	大塚	大塚	露崎				露崎	露崎	露崎			
眼 科		石川	石川	石川	手術	石川	石川(第2、第4)			石川		石川(第1、第3)	石川(第2、第4)		
		陶山	陶山	陶山		陶山	陶山(第1、第3)	陶山	陶山	陶山	手術				
女性診療科	婦人科	五来	五来	五来	手術	五来	五来	奥山	奥山	五来	手術	五来	五来		
	乳腺科	北谷		北谷		北谷		北谷		北谷					
皮膚科		佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木		佐々木(第1、第3)		佐々木	佐々木				
							手術	三 谷(第2、第4)		三谷(第1、第3)		佐々木(第2、第4)	花 田(第1、第3)		
小児科		花田	花田	花田	花田	花田		花田	花田	花田(第2、第4)					
		藤澤	藤多	藤澤	藤多	乾	藤多	藤澤	藤多	乾	藤澤	藤多	藤多		
		乾	藤澤	乾	十河 2	十河	森(有)	森(庸)	森(庸)	十河	森(庸) 2	藤澤	1人(交代)		
耳鼻咽喉科			鈴木 3									森(有)			
		林	林 4	神崎	手術	林	手術	神崎	神崎※4	林	林 4	林	検査		
			神崎 4												
放射線科		塩野	塩野	塩野	塩野	塩野		塩野	塩野	塩野	塩野	田之畑			
ペインクリニック				奥津						奥津					
リハビリ科		北川								北川					
病 理		北村	北村			北村	北村			北村	北村	北村	北村		

1 第1・3・5金曜日の午前は重政(循)医師、第2・4金曜日の午前・午後には国枝(循)医師が診療致します。

2 乳児健診は火曜日の2時〜3時30分、予防接種は金曜日の2時〜3時30分に行っています。

3 小児病棟外来は、第3曜日の午後には診療致します。

4 耳鼻咽喉科外来・月曜日の午後には補聴器外来、木曜日の後はめいまい・難聴外来、金曜日の午後には「外来で予約制です。

5 急患の場合は、随時受け付けておりますので、診療担当医師と相談して下さい。

経験や想いが人を動かす力

人が何か新しいことを始めようと思うとき、まずは何らかの戦略ありきでスタートする場合が多いだろう。しかし、むしろ戦略や計算から離れた個人的な経験や想いが大きな事業をスタートさせるきっかけとなることもある。

義父が脳内出血を患ったとき、リハビリテーションの専門病院を二十ほど視察したことがある。当時九州にはまだリハビリの専門病院がないことを、そのとき私ははじめて知り大変驚いた。福岡県の柳川にリハビリテーション病院とリハビリの専門学校をつくったのはそのためである。また、このときに大変お世話になった言語聴覚士という専門職に対して私は純粹に尊敬の念を持ったのだが、米国に比べるとその職能としての地位があまりにも低いことに強い疑問を感じた。このときの体験が後に本学に言語聴覚学科を開設するきっかけとなったのである。

日本の不妊治療のトップである医師スタッフを山王病院に迎え、リプロダクションセンターを開設したこともまた、十年ほど子どもに恵まれなかった自分自身の経験があったからだとはいえる。さらに今般、腫瘍内科に特化したオンコロジーセンターを山王メディカルプラザ内に開設したわけだが、これも一方で

は毎年の癌患者が50万人を超え、30万人が癌で死亡しているといわれる時代背景もあるが、やはり自分の父が実際に肺癌を患って放射線医学総合研究所にお世話になっていることや、身近な方々が相次いで癌にかかったという経験によるものである。

あらゆる事業には成功も失敗もあるものだが、ふと考えてみると初めから成功させることを考えて始めたことよりも、むしろ個人的な動機に突き動かされるようにして始めたことの方が結果としては成功している場合が多いように思われる。これもまた人生の面白い一面ではないかと思うのだ。

プロフィール

一九五七年、福岡県生まれ。東京医科大学医学部卒業。医学博士。九五年、国際医療福祉大学を設立、理事長に就任。著書に「聖路加国際医療院理事長日野原重明氏との対談集」がえられ、日本の医療（中央公論新社刊）がある。

国際医療福祉大学理事長 高木邦格

教員紹介

現在の所属・職位、最終学歴、専門分野、前職、主

松原 哲 (マツハラ・テツ)

東京医科大学大学院医学研究科内科学専攻 / 不整脈学、予防心臓病、総合医学 / 東京医科大学循環器内科・総合診療センター助教授 / 臨床心臓電生理学 (南江堂) / 不整脈学 (南江堂) / 虚血性心疾患を有する者に対する健康づくり指導プログラムの効果 (日本心臓リハビリテーション学会誌) / なし / 冠危険因子と抗酸化能を臨床データより検証し健康長寿を考える。

奥仲哲弥 (オクナカ・テツヤ)

臨床医学研究センター教授 / 1956年2月25日 東京医科大学大学院医学研究科内科学系修了

加藤宏之 (カトウ・ヒロユキ)

臨床医学研究センター教授 / 1956年2月25日 東京医科大学大学院医学研究科内科学系修了

神内内科学

東北大学大学院医学系研究科助教授

東北大学との関係で省略

未定

脳機能画像診断法による損傷の機能的再構築の研究

田中俊一 (タナカ・シュンイチ)

大学院教授 (臨床試験研究分野) / 1953年3月29日 横浜市立大学医学部医学科卒

北川 明 (キタガワ・アキラ)

大学院助教授 (臨床試験研究分野) / 1962年3月13日 熊本大学大学院医学研究科博士前期課程

データマネジメント

熊本大学医学部附属病院薬剤部

臨床統計関係多数

臨床試験研究 統計解析

臨床試験マネージメント

内科 (内分泌糖尿病) / 臨床試験管理

米国マウントサイナイ医科大学助教授

臨床試験研究

CRC業務、CRA業務、データマネジメント業務等試験関連業務の学術的体系化を図る

「ご挨拶」

国際医療福祉リハビリテーションセンター・なす療育園施設長 下栗秀夫

国際医療福祉リハビリテーションセンター

平成十二年に国際医療福祉大学構内に設置された国際医療福祉リハビリテーションセンター内には、重症心身障害児施設「なす療育園（定員五〇名）」、身体障害者療護施設「那須療護園（定員五二名）」、身体障害者デイサービスセンター「那須デイセンター」があります。現在入所施設はほぼ満床です。

医療機関である、なす療育園の外来には、栃木県東北地域を中心に県内各地から身体障害を持つ成人の方、脳性麻痺などのために肢体不自由のある子どもたち、自閉症やADHDなど発達障害の子どもたちなど多くの方が受診され、リハビリテーションを受けておられ、東北地区の小児リハビリテーションの中心となっております。

おおたわら総合在宅ケアセンター

また、今年四月にはリハビリテーションセンターの南側に「おおたわら総合在宅ケアセンター」が出来ました。ケアセンターには在宅高齢者通所施設であるデイケアセンターとデイセンター、および軽度痲痺性高齢者グループホームがあります。すでに多くの高齢者の方が利用し大変好評です。両方の施設は学生実習施設になっており、また多くの学生が施設でボランティア活動を行い、大学内にある施設の利点を大いに生かしています。

国際医療福祉大学クリニック

両施設の隣にある国際医療福祉大学ク

肢の中から患者様が求める医療を選ぶことになる。

患者様との信頼関係を回復することが病院にとって最も重要なことだ。医療現場においては最先端のあらゆる技術や技法を駆使して診断し治療するシステムを備え、患者様に対して誠心誠意向かい合っていく心構えを持たなくてはならない。そのためにも、患者様のニーズを把握した上で、われわれ医療人がプロとして全人格的に患者様にどう応えるのかを明らかにすることが必要だ。

病院で発生するリスクについてだが、万全の注意を払っていてもインシデントやアクシデントはある確率で起こってしまう。ヒヤリハットの事例をできるだけ少なくしていく努力が必要である。そこでリスクマネジメントの重要性が出てくる。ヒヤリとしたハットした症例や事例をくまなくピックアップして、なぜ起きたのが原因を現場だけでなく病院全体で究明し、今後事故が起きないためにどのような対策を講じるべきか、知恵を出し合うことが大切だ。一つひとつしらみつぶしに症例の原因究明と対策を行うことが結果的に事故を減らすことにつながる。リスクマネジメントは絶えず病院の日常業務活動の一環として推し進めるべきものであり、国際医療福祉病院ではそれを日々実践しつつある。

現在病院には二〇〇人弱の患者様が入院し、八〇〇人前後の患者様が毎日外来を訪れている。施設を訪れてくれる人たちを火災などの災害から未然に防ぐ努力が大切であり、われわれ医療従事者は常に防災意識を持たなくてはならない。理

リニック（谷禮夫院長）には、健康管理センターと言語聴覚センター（新美成二センター長）があり、健康管理センターでは学生、職員をはじめ地域の方々の診療、健診を行っています。また、リハビリテーションセンター、ケアセンターを医療面から支えてくれています。

言語聴覚センターは、学生実習施設であるとともに、日本でも有数の言語障害の専門医療機関であり、東日本各地から患者様が来られています。このような大学内の医療、福祉施設が利用者のために有機的に結びつき、より優れた学生を育成するために役立っています。

* * *

国際医療福祉リハビリテーションセンターより、「第二回いきいきらいふフエスタ」のお知らせ

国際医療福祉大学と国際医療福祉リハビリテーションセンター、および那須地域の福祉活動グループ「Big And Little Angels」が共催して行う福祉機器展示会「第二回いきいきらいふフエスタ」が、十一月二日に国際医療福祉大学で開催されます。

当日、会場には子どもから大人まで使える福祉機器が展示され、実際に見て、使って、試して、遊ぶことができますので多くの福祉機器を実際に触れ説明を聞くことのできる良い機会です。また、当日はアトラクションや模擬店なども出店しております。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしております。

特色ある総合病院としての医療サービスの構築を目指す

山王病院

山王病院は、アメニティの充実と医療の質の一層の向上を企図して現在の新病院に移転し、この十一月で四年目を迎えようとしております。

当院では、特色のある総合病院としての医療サービスの構築を目指して優秀な医師八一名を揃え、それを支える看護師をはじめとしたコ・メディカルの厚い人材による診療体制を整えております。また、一・五テスラMRI、五・五MヘリカルCTをはじめとした最新鋭の医療機器も整備しております。

診療科では、従来から知名度の高い産婦人科を一層充実し、リプロダクションセンター（不妊治療）では日曜日・祝祭日の診療、内科では七時までの延長診療を実施、また、予防医学センターでは、

施設職員が「西那須野ふれあいまつり」に参加

「西那須野町のふれあいまつり」で恒例の「流し踊り」が七月二十六日（土）開催された。

国際医療福祉病院、マロニエ苑、栃の実荘の三施設職員有志による総勢一四六名で構成する「流し踊り実行部隊」が西那須野の目抜き通りを、他の参加団体三二団体（二、一五八名）とともに一時間三〇分休み無しで元気に踊りながら行進した。

三施設の名前が書かれたフラカードを先頭に、隊員のいでたちは、妖艶な浴衣陣とハッピ姿がほとんどだったが、白いナース服に身を包んだ怪しげな男性職員も混じり、地元民にその勇姿（？）を披露し、沿道から喝采を浴び、病院と施設の認知度アップに大きな貢献をした。

国際医療福祉病院 大畑公平

この九月には山王分院の名称を「山王メディカルプラザ」と変更し、国際医療福祉大学東京ボイスセンター所長の福田宏之先生に新院長としてご就任いただき新体制をスタート致しました。

新たな発想のもと患者様に満足いただける最高の医療サービスの提供に取り組めます。具体的には、外来を中心とした体制の強化を図り内科体制について大きく拡充致しました。

同時に、前国立がんセンター中央病院腫瘍内科医長の渡辺亨先生がご着任され、「オンコロジーセンター」を新たに開設致しました。腫瘍内科に特化した「オンコロジーセンター」では、乳癌・卵巣癌・肺癌等の患者様に抗癌剤治療を外来中心に行います。また、癌診療全般にわたるセカンドオピニオン外来を実施し、患者様に対する安心の癌診療を目指します。

山王メディカルプラザでは、内科・ボイスセンター・人工透析・オンコロジーセンター・精神神経科・歯科の有機的な結びつきにより最高の医療機能を発揮する体制を整え、青山一丁目という交通至便な都心の一等地で地域医療を担う医療機関として新たな歩みをはじめました。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

山王病院 松野浩介

病院における最大にして最良のサービス

国際医療福祉病院院長 佐藤郁夫

病院にとって最も大切なことは、情報公開、リスクマネジメント（危機管理）、防災対策の三点である。

最近医療事故が頻繁に発生し、病院に対する不信任や不安感が国民の間に広がっている。それを報道するマスメディアの姿勢が拍車をかけ、極端な場合、病院では何をされるかわからないと決めつけられてしまうこともある。病院の置かれている状況は厳しい。

医師が全力で治療を行っても、完治しない病気もある。患者様は必ずしも自分の病気の重症度を理解しているわけではなく、ほとんどの場合治療により自分が全快するか生き長らえると思っている。情報公開というのは、時として患者様にとってかなり辛くきつい話にもなる。それを十二分に話し合って納得していただく。病院としてわれわれがどこまで最善を尽くせるか。そして、その結果どうなるかを患者様に伝えて理解をしていただく。そのうえで、幾つかの治療法の選択

想の病院とは、病院を頼ってくる患者様に対してプロフェッショナルとして最善を尽くした医療技術を提供するところである。最善を尽くす過程で、患者様の疑問や不安を完全に取り除いてあげる（情報公開）、日常的にインシデントやアクシデントを減らす（リスクマネジメント）、災害から患者様を守る（防災）、これら三つのことが患者様への最大にして最良のサービスになる。

* * *

恒例の三施設合同納涼祭、台風のため屋内にて開催

国際医療福祉病院、介護老人保健施設マロニエ苑、介護老人福祉施設栃の実荘の三施設による合同納涼祭が八月九日（土）夕方の六時から行われた。当日は大型台風一〇号接近により風雨が激しくなったため、予定された屋外駐車場での開催を取りやめ、マロニエ苑と栃の実荘のロビーに会場を移した。それぞれの施設利用者と家族が合計四五〇人集まった。

参加者は、地元ボランティアによる八木節やよさこいソーラン踊りなどアトラクションや踊りを楽しんだ。焼きそばやたこ焼きなど、予定された一部の模擬店も屋内に移動した。

例年通り行われていた花火が中止となったことで「楽しみにしていたのに」と残念がる参加者の声が多かったが、荒天にもかかわらず室内の熱気は強く、合同納涼祭は活況のうちに終了した。

国際医療福祉病院 大畑公平

三施設の名前が書かれたフラカードを先頭に、隊員のいでたちは、妖艶な浴衣陣とハッピ姿がほとんどだったが、白いナース服に身を包んだ怪しげな男性職員も混じり、地元民にその勇姿（？）を披露し、沿道から喝采を浴び、病院と施設の認知度アップに大きな貢献をした。

国際医療福祉病院 大畑公平

この九月には山王分院の名称を「山王メディカルプラザ」と変更し、国際医療福祉大学東京ボイスセンター所長の福田宏之先生に新院長としてご就任いただき新体制をスタート致しました。

新たな発想のもと患者様に満足いただける最高の医療サービスの提供に取り組めます。具体的には、外来を中心とした体制の強化を図り内科体制について大きく拡充致しました。

同時に、前国立がんセンター中央病院腫瘍内科医長の渡辺亨先生がご着任され、「オンコロジーセンター」を新たに開設致しました。腫瘍内科に特化した「オンコロジーセンター」では、乳癌・卵巣癌・肺癌等の患者様に抗癌剤治療を外来中心に行います。また、癌診療全般にわたるセカンドオピニオン外来を実施し、患者様に対する安心の癌診療を目指します。

山王メディカルプラザでは、内科・ボイスセンター・人工透析・オンコロジーセンター・精神神経科・歯科の有機的な結びつきにより最高の医療機能を発揮する体制を整え、青山一丁目という交通至便な都心の一等地で地域医療を担う医療機関として新たな歩みをはじめました。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

山王病院 松野浩介



国際医療福祉病院



あなたの「学びたい」に応える充実のラインナップ

医療福祉チャンネル774の「受験講座」

再放送がありますので、繰り返しご覧になれるほか、途中加入でも全回受講することができます。

視聴およびサブノートに関するお問合せ・お申込み
医療福祉チャンネル774 お客さま係 ☎0120-870-774
ホームページ iryoufukushi.com Eメール info@iryoufukushi.com

ケアマネジャー受験講座

2003年5月開講

近年の出題傾向から「介護支援分野」「保健医療サービス分野」「福祉サービス分野」の試験科目別に構成。制度改正にもすばやく対応し、実践的な学習で合格を目指す！



番組準拠サブノート

社会福祉士受験講座

2003年10月開講

社会福祉基礎構造改革や社会保障制度改革などの流れにしっかり対応。総合的な力を身につけ、試験に臨もう!!



番組準拠サブノート

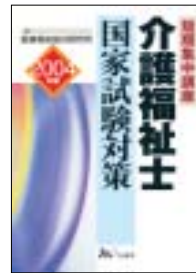
介護福祉士受験講座

2003年9月開講

過去の出題傾向を分析! 試験に出る「重要項目・語句」を詳しく解説。国家試験の難所「実技試験」突破の強力な味方「実技編」が充実。



番組準拠サブノート



参考テキスト(番組使用)

福祉住環境コーディネーター2級講座

2003年2月・7月開講

パワフルで実務に精通した講師陣が、住宅改修に必要な知識からさまざまな障害を理解するための医学的知識までわかりやすく解説!
*この講座のテキストは一般書店で買い求めください。

IUHW 国際医療福祉大学出版会書籍のご案内

ケースワーク援助の方法と技法を事例を取り入れながら分かりやすく解説
「ケースワーク援助の理論と実際」著者：大島寛 国際医療福祉大学教授
A5判、約208頁、ソフトカバーNOW
PRINTING

定価：本体2,800円＋税

これから社会福祉学を学ぶとすすめるすべての初学者のための入門書
「入門・社会福祉学」編著：国際医療福祉大学医療福祉学
科/監修：鈴木五郎(医療福祉学部長・
学科長・教授)/B5判 392頁

定価：本体2,800円＋税

医療・経営管理職育成のための
バイブル
「三訂 医療・福祉経営管理入門」編著：国際医療福祉大学医療経営管理
学科/B5判、540頁、ソフトカバー

定価：本体3,800円＋税

NPO運営のための画期的な手引き書
「福祉NPOの挑戦—
コミュニティケアの経営管理」監修：水谷中正(国際医療福祉大学
教授)/著者：橋口徹・福原康司(国
際医療福祉大学)/A5判、378
頁、ソフトカバー

定価：本体3,000円＋税

ご注文は、国際医療福祉大学出版会まで 〒107-0062 東京都港区南青山1-24-1 アミティ乃木坂3階 ☎03-5414-6098 FAX03-5414-6096
E-mail: press@iuhw.ac.jp http://press.iuhw.ac.jp表紙・特集撮影：加藤文哉
デザイン：アイ・デプト発行：国際医療福祉大学
編集部
【東京】
〒107-0062
東京都港区南青山1-24-1
アミティ乃木坂三階
電話 〇三五四一四六〇九八
【大田原】
〒324-8501
栃木県大田原市北金丸三〇〇一
国際医療福祉大学内
電話 〇二八七一四三〇〇〇

IUHW 短信

IUHW Note

- 7月26日(土)、本学と国際医療福祉リハビリテーションセンターとの恒例の合同夏祭りが開催された。花火の打ち上げも行われるなど盛況を呈した。
- 8月1日(金)、大田原女子高等学校との高大連携事業として実施した公開講座(全26回)が終了。講義終了後のアンケートでは参加者72名のうち90%以上の生徒が「医療福祉分野の理解を深めることができた」「将来役に立つ授業内容であった」と回答した。
- 10月1日(水)より大学院公開講座「治験コーディネーターに求められる知識と技能」(全12回)が、東京サテライトキャンパスにて開講した。
- 10月2日(木)より「総合講義」の一環として公開講座が始まり、同日はフジテレビ「報道2001」のキャスターとして活躍する黒岩祐治氏が「医療・看護とジャーナリズム」と題して講義。大講堂は学生ら約500人で満席となった。